

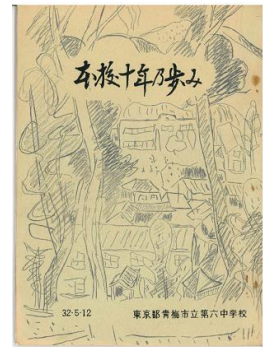
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい人になろう ・正しい人になろう ・たくましい人になろう
------	---

開校当時（76年前）生徒数・185名でスタート

校長 吉田 稔

第七小学校は今年で150周年を迎えます。第六中は第七小と比べると歴史は浅く、今年5月5日に開校76年目になります。本校の10周年記念誌『本校10年の歩み』※(昭和32年5月12日発行)によると、六中開校式は昭和22年5月5日でした。当時の生徒数は185名、5学級編成、教職員は校長を含めて9名でスタート。当時の学校名は「小曾木中学校」。校舎は小学校と福昌寺を借り、その後、1年をたたずに最初の校舎が地域の方々のご尽力により昭和23年4月5日に現在の市民センターの場所に建設されました。第1回卒業生24名はこの新校舎でわずか10日間くらい学んだだけで巣立ちました。校章はそれから6年後の昭和30年4月1日に制定しました。この時に吉野村・三田村・小曾木村・成木村の4村が青梅市に合併して青梅市黒沢・南小曾木・富岡となり、校名も「第六中学校」に変更。校歌は開校10周年目の昭和32年3月20日にPTAの協力で作られ、校旗も同日に同窓会から寄贈されました。校旗は同窓会旗でもありました。開校後10年間の行事を見るとPTAが昭和29年度に第七小と共同廃品回収を始めました。小中の連携はこの時からすでにありました。現在の場所に校舎ができたのは昭和53年でした。今年で46年目を迎えます〔続き裏面〕。

(※本校卒業生の鹿島孝房さんから4月に寄贈されました)



『本校10年の歩み』
(昭和32年発行)

●1年生ホタルの授業(道徳・理科)です(5/2火3～4時間目)

1年生の道徳・理科の2時間の授業で地域のゲストティーチャー、島田福美さん・鹿島孝房さんにホタルの話現地でうかがいました。天気も良くホタルのえさとなるカワニナを天理教の教会裏の水路でたくさん見つけました。お話から地域の人たちが協力してホタルの保護をしていることがわかりました。これから6月26日(月)の総合的な学習の時間「青梅学」では、なぜホタルが増えてきているのか、これからも保存していくにはどうしたらよいか、地域の皆さんと一緒に考えていきます。



ホタルのえさとなるカワニナ

●コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の皆様ご紹介(順不同・敬称略)

第1回コミュニティ・スクール学校運営協議会は6月2日(金)午後1時20分からです。今年度の委員の方々を下記にご紹介します。1年間よろしくお願ひします。

※公開をご希望の方は前日まで右記までご連絡ください。☎小野副校長 0428-74-5344

島田福美	小曾木地区青少年問題対策協議会委員長	宿谷悟子	民生児童委員	市川洋治	自治会長
若林良弘	おそきの学校と地域を考える会事務局・本校同窓会会長	野田喜嗣	第七小学校副校長	吉澤正之	民生児童委員
市川佳代	主任児童委員	柳内敏久	おそきの地域と学校を考える会会長	小峰幸宏	第六支会副会長
伊藤栄治	本校PTA副会長				以上10名

●創立 10 周年当時の地域と学校の様子－10 周年記念誌『本校 10 年の歩み』から（続き）

当時の様子が見える記事を一部抜粋して以下にご紹介します。

第七小と保育園の
児童・園児等の人数

学区の
「生業別世帯数」

第六中	生徒数	全教職員数
1 年	8 5	15
2 年	8 8	
3 年	9 0	
合計	2 6 3	

第七小学校	人数
本校 児童数	4 2 9
東分校 //	6 0 2
西分校 //	4 5
全教職員数	2 2

業種	戸数
農業	2 1 4
製造業	2 0 2
商業	7 2
公務員	6 0
建設業	2 0
その他	9 3
計	6 6 1

当時の校訓

- 1 明朗活発 常に明るく生き生きと
- 2 自学自修 進んで勉強する
- 3 社会性 各々良い言動を身につけ、人々協同して事を行う
- 4 健康 心身を強く美しくきたえる
- 5 勤労奉仕 勤労の力を社会に役立たせる

保育園	人数
園児数	7 2
全職員数	5

「あゆみ」〔第 3 回卒業生の文章から抜粋〕
（前略）小学校六年の時、私は上級進学^のの勉強をしていた。当時は参考書、問題集など皆無でただ教科書の復習よりなすすべがなかった。教科書も現在の新聞紙大のもので、それを四ツ切りにして閉じたもので、印刷も極めて粗雑、紙も悪く乏しい電灯の下では読めないこともあった。そんなある日「村に中学ができて、皆、無試験で行ける」ということを聞いた時は、私はなかなか信じられなかった。さらに男女共学になる…

学校備品（一部）

- ・図書冊数 生徒用 1440 冊
- ・実験装置 1
- ・直流電圧系 1
- ・顕微鏡 4
- ・天体望遠鏡 1
- ・ミシン 9
- ・アイロン 4
- ・跳び箱 2
- ・ピアノ 1
- ・オルガン 1
- ・テープレコーダー 1
- ・自転車 1
- ・16 ミリ映写機 1

地域の主要生産物

- ・レンズ
 - ・織物
 - ・木材
 - ・穀類
 - ・いも類
 - ・雑木薪
 - ・野菜
 - ・蚕繭
 - ・牛乳
 - ・鶏卵
- 等かなりの生産をみている。

「中学校の建設を偲んで」〔元小曾木村助役・P T A 顧問の方の文章から抜粋〕
昭和 22 年 7 月 1 0 日起工。村民の勤労奉仕による整地作業と同じく村民の寄付金を基本に村有山林売却と国庫補助をもって建築及び内容の備品等を設備したのであります。（中略）〔戦後のため〕物資は極度の不足をしており誠に困難な時代でありました。農地は法で縛られる、同時に各自は一坪の土地も食糧増産に役立てようと皆が意気まいているのです。この時代に校舎の敷地を四、五反歩をしかも村の中央部に臨むという事の無理が今でも身にしみております。やむなく候補地を村有地小学校西北の小高い処、ただ今住宅のある処…

昭和 32 年当時の学校行事（抜粋）

6 月…農繁休業、映画教室／7 月…映画教室／
8 月…臨時登校、夏季施設／9 月…映画教室

10 月…小中合同運動会、野外生活学習指導
11 月…農繁休業、市中駅伝大会、映画教室
12・1 月…映画教室／2 月…都学力調査他

※記事内の個人名は、学校ホームページに掲載いたしません。

【今後の予定】※変更の場合、保護者の皆様へメール等でお知らせします。

5 月の予定
10 日（水）午前授業、（午後教員研修会）
11 日（木）生徒総会リハーサル、眼科検診
12 日（金）生徒総会（6 時間目）
16 日（火）尿検査（二次）、耳鼻科検診
17 日（水）尿検査（二次）、小中合同研修会
21 日（日）修学旅行 1 日目（3 年）
22 日（月）修学旅行 2 日目（3 年）

23 日（火）修学旅行 3 日目（3 年）、職場体験 1 日目（2 年）
24 日（水）振替休日（3 年）、職場体験 2 日目（2 年）
25 日（木）職場体験 3 日目（2 年）、川越校外学習（1 年）
26 日（金）都学力調査（3 年）
29 日（月）全校朝会